

ふやそう！子どもたちが笑顔になる言葉

最近気になる言葉

最近気になる言葉が子どもたちの間で使われるようになっていきます。それは「キチガイ」という言葉です。この言葉は昔からあるので、知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、この言葉は、差別と感じた人や心に病をもつ人の家族の方々から声があがり、ほとんどの放送局で放送禁止用語、あるいは放送を自粛している言葉です。

子どもたちがこの言葉を知るきっかけとなった一つに、インターネットがあります。インターネット上でゲームをしている投稿者が、ゲームの対戦相手に対して腹が立ったり、相手が信じられないようなプレーをしたりした時に使われる言葉が「キチガイ」です。また、家庭の中でその言葉が使われて知ったという子どももいます。

そんな言葉と出会った子どもたちは、しだいに日常生活の中でも使うようになっていきます。友だちがおかしな行動をした時や、相手を笑わせようとおもしろい表情や行動をした時、また、相手に対して腹が立った時、相手を傷つける気持ちで使う時もあります。

人を笑顔にする言葉と人を傷つける言葉

筑紫野市の学校では、人を傷つける言葉をなくし、人を笑顔にし、やる気を起こす言葉を増やす取り組みをしています。ある小学校では1年生から、「人を笑顔にする言葉」と「人を傷つける言葉」について学習をしています。

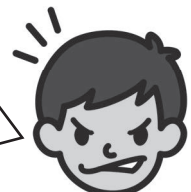
人を笑顔にする言葉

ありがとう
だいじょうぶ？
手伝おうか
いっしょにしようか
こうしたらうまくいくよ



人を傷つける言葉

うざい
きもい
近よらんで
死ね
友だちじゃない



「人を笑顔にする言葉」を言われると、心が温かくなり、安心がうまれます。

大人ができること

「人を傷つける言葉」は人と人とのつながりを切ります。場合によっては、つながりを切るだけでなく、いじめや差別につながることもあります。

人を傷つける言葉を発言する子どもたちは、自分の気持ちを詳しく伝えたり、相手の気持ちを聞いて推し量ったりする力がまだ身に付いていないことが多いです。だからこそ、私たち大人が、子どもたちが笑顔になる言葉、安心する言葉をかけてあげたいですね。人を大切に作る姿、人を尊重する姿を子どもたちにお手本として見せてあげたいですね。

よくがんばったね。お手伝いしてくれてありがとう。

すてきだね。あなたはそんなことしてくれただ。

だいじょうぶ。心配しなくていいよ。

